

# 環境設定 (IE11・Edge) (Edgeは「国内+国外版」「国内外+翻訳版」のみ)

○SRPARTNERでは印刷・ダウンロードなどにActiveXアドオンを使用しており、ログイン時にインストールメッセージが表示されます。  
ご使用端末に初期設定いただく必要がございます。

以下記載の設定を実施し、設定変更を行ってください。

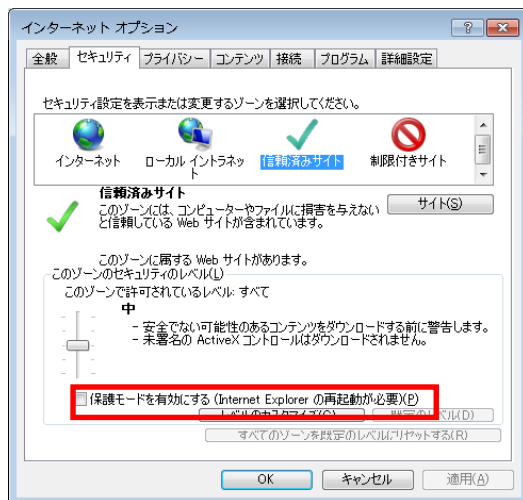
## 1.保護モードの解除



①[コントロールパネル]－[インターネットオプション]を選択してください。

②[セキュリティ]タブを選択し、[信頼済みサイト]をクリックし、[保護モードを有効にする(Internet Explorerの再開が必要)]

にチェックがついている場合、チェックを外してください。



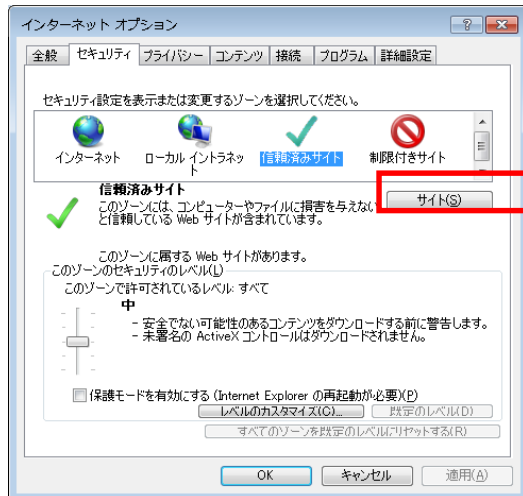
# 環境設定 (IE11・Edge) (Edgeは「国内+国外版」「国内外+翻訳版」のみ)

## 2.信頼済みサイトへの追加



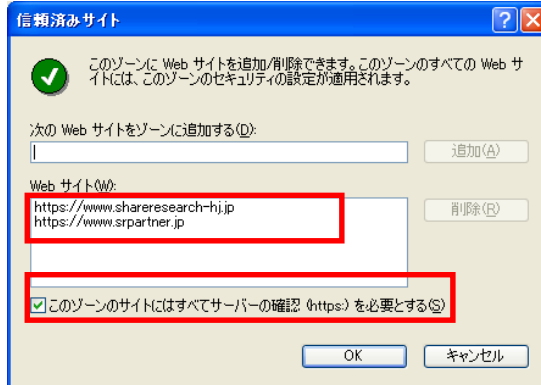
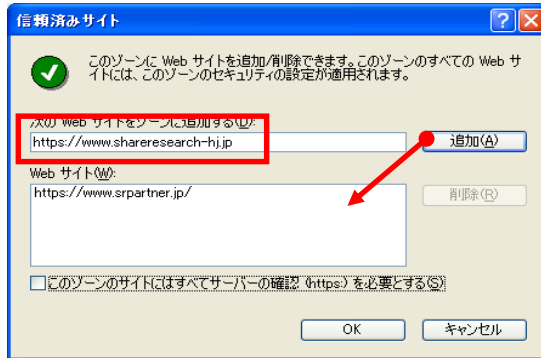
①[コントロールパネル]－[インターネットオプション]を選択してください。

②[セキュリティ]タブを選択し、[Webコンテンツのゾーンを選択してセキュリティのレベルを設定する]から[信頼済みサイト]を選択します。



③[信頼済みサイト]から[サイト(S)]を選択します。

# 環境設定 (IE11・Edge) (Edgeは「国内+国外版」「国内外+翻訳版」のみ)



④ [次のWebサイトをゾーンに追加する(D)] にホームページのアドレスを入力します。

「国内+国外版」「国内外+翻訳版」の場合

<https://www.srpv2.com>

「Light版」の場合

[https://www.Sharerresearch\\_hj.jp](https://www.Sharerresearch_hj.jp)

「Middle版」「Normal版」「US版」「US+PC/EPC版」

「GLOBAL版」の場合

<https://www.srpartner.jp>

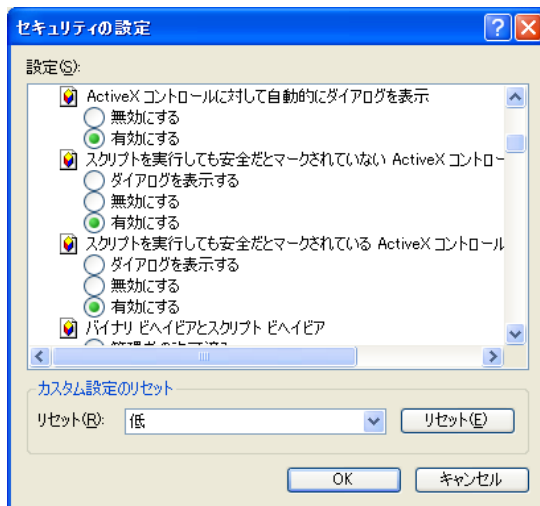
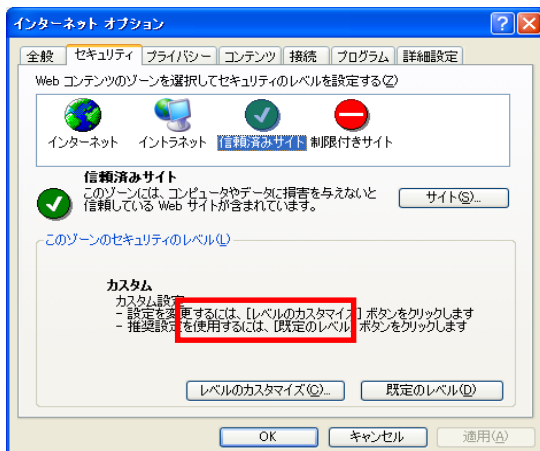
⑤ [このゾーンのサイトにはすべてサーバの確認 (https:) を必要とする(S)] の左側にあるチェックボックスのチェックを外します。

⑥ [追加(A)] ボタンをクリックしてください。

⑦ [Webサイト(W)] に設定したWebサイトが追加されたことを確認し、[OK] ボタンをクリックして下さい。

# 環境設定 (IE11・Edge) (Edgeは「国内+国外版」「国内外+翻訳版」のみ)

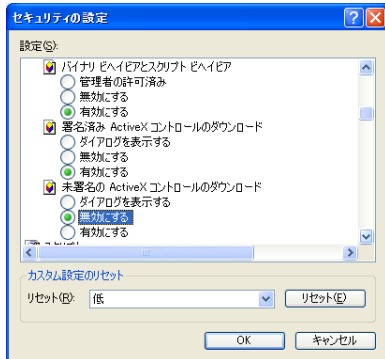
## 3.信頼済みサイトのActiveX動作設定



- ①メニューバーの[ツール]から[インターネットオプション]を選択します。
- ② [セキュリティ]タブを選択し、[Webコンテンツのゾーンを選択してセキュリティのレベルを設定する]から[信頼済みサイト]を選択します。
- ③[このゾーンのセキュリティレベル]から[レベルのカスタマイズ(C)]を選択します。
- ④[セキュリティの設定]の[設定(S)]を、以下のように選択してください。
  - ・「ActiveXコントロールとプラグインの実行」  
→[有効にする]
  - ・「ActiveXコントロールに対して自動的にダイアログを表示」  
→[有効にする]
  - ・「ActiveXフィルターを有効にする」  
→[無効にする]
  - ・「スクリプトを実行しても安全だとマークされているActiveXコントロールのスクリプトの実行」  
→[有効にする]

(次頁に続く)

# 環境設定 (IE11・Edge) (Edgeは「国内+国外版」「国内外+翻訳版」のみ)



・「バイナリ ビヘイビアとスクリプト ビヘイビア」

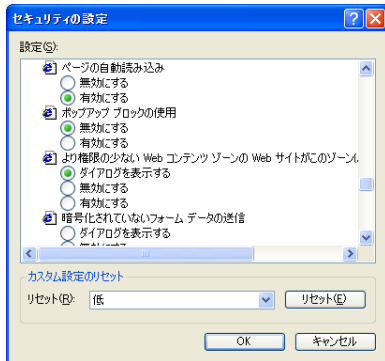
→[有効にする]

・「署名されたActiveXコントロールのダウンロード」

→[有効にする]

・「前回使用されなかったActiveXコントロールを警告なしで実行することを許可する」

→[有効にする]



・「未署名のActiveXコントロールのダウンロード」

→[無効にする]

・「Javaアプレットのスクリプト」

→[有効にする]

・「アクティブスクリプト」

→[有効にする]

・「ポップアップブロックの利用」

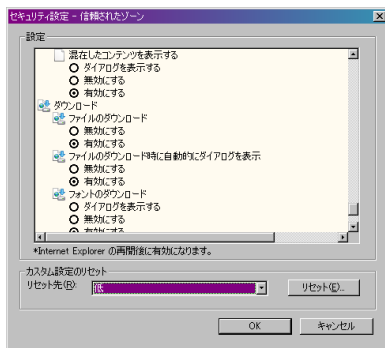
→[無効にする]

・「スクリプトによる貼り付け処理の許可」

→[有効にする]

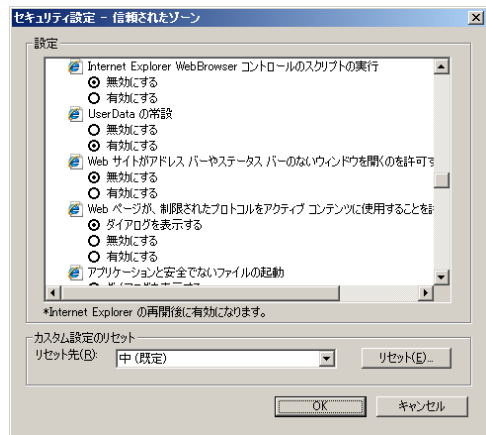
・「ファイルのダウンロード」

→[有効にする]

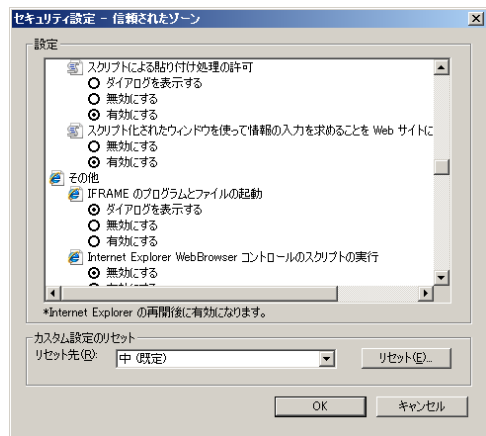


(次頁に続く)

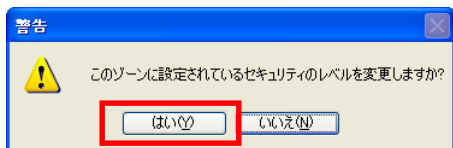
# 環境設定 (IE11・Edge) (Edgeは「国内+国外版」「国内外+翻訳版」のみ)



- ・「Webサイトがアドレスバーやステータスバーのないウィンドウを開くのを許可する」  
→[有効にする]
- ・「スクリプト化されたウィンドウを使って情報の入力を求めることをWebサイトに許可する」  
→[有効にする]
- ・「Microsoft Webブラウザコントロールのスク립トの実行」  
→[有効にする]
- ・ 混在したコンテンツを表示する  
→[有効にする](ie11)



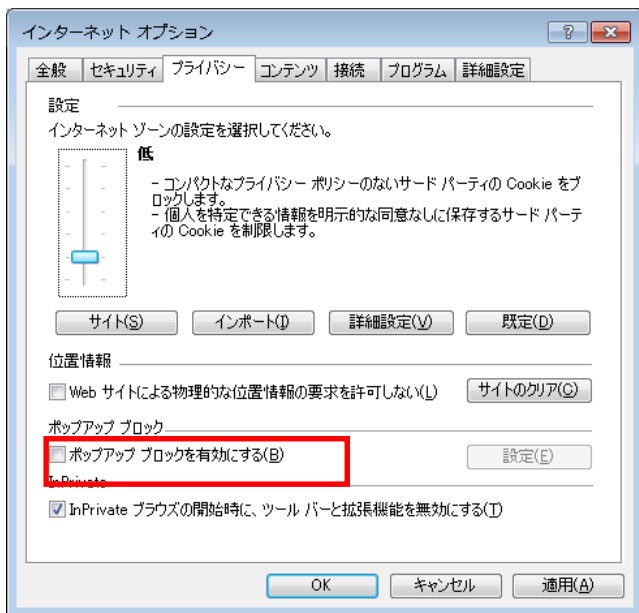
⑤変更が完了したら、[OK]ボタンを押します。



⑥[このゾーンに設定されているセキュリティレベルを変更しますか]というメッセージが表示されますので、[はい]を選択します。

# 環境設定（IE11・Edge）（Edgeは「国内+国外版」「国内外+翻訳版」のみ）

## 4.ポップアップブロックの解除(ie11)

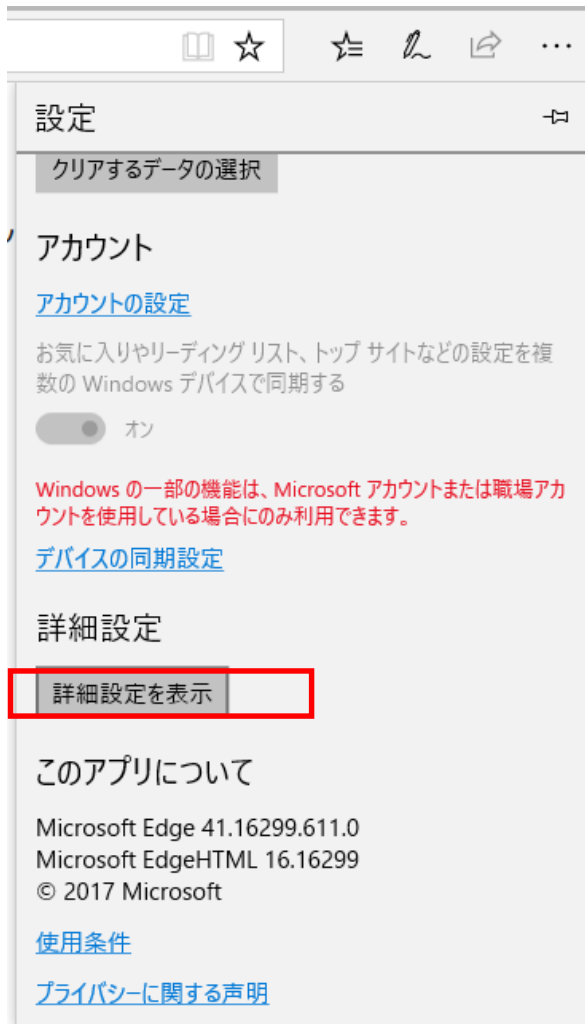


- ①メニューバーの[ツール]から[インターネットオプション]を選択します。
- ② [プライバシー]タブを選択し、[ポップアップブロックを有効にする]がチェックされている場合はチェックを外します。

以上で完了です。

# 環境設定（IE11・Edge）（Edgeは「国内+国外版」「国内外+翻訳版」のみ）

## 4.ポップアップブロックの解除(Edge)



①Edgeを起動し画面右上部の[...]-[設定]を選択します。

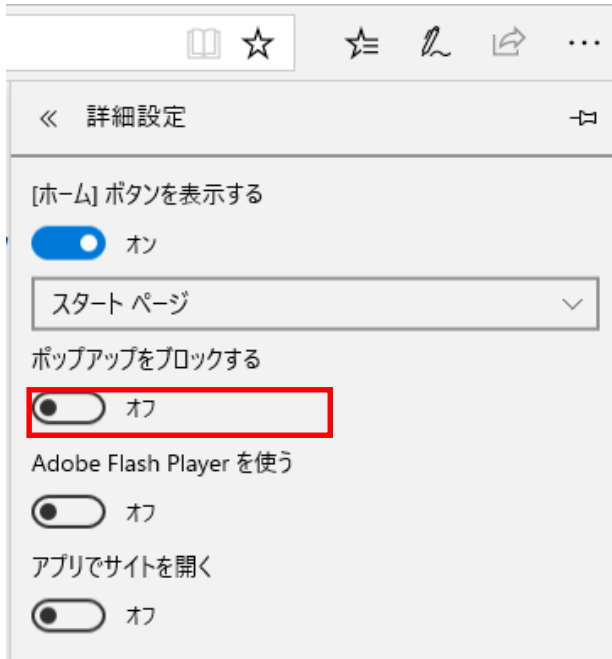
②設定の[詳細設定を表示]をクリックします。



# 環境設定（IE11・Edge）（Edgeは「国内+国外版」「国内外+翻訳版」のみ）

## 4.ポップアップブロックの解除(Edge)

③[ポップアップをブロックする]項目をオフにします。



以上で完了です。

# 環境設定 (Google Chrome) (※国内+国外版、国内外+翻訳版のみ)

## 1. ポップアップブロックの設定

① Chromeを起動し、画面右上部の[:]－[設定]を選択します。



② [設定]の[詳細設定]をクリックします。



# 環境設定 (Google Chrome) (※国内+国外版、国内外+翻訳版のみ)



③ [プライバシーとセキュリティ] - [コンテンツの設定] をクリックします。

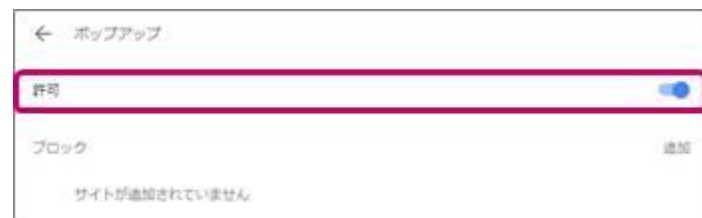


④ [ポップアップ] をクリックします。

# 環境設定 (Google Chrome) (※国内+国外版、国内外+翻訳版のみ)

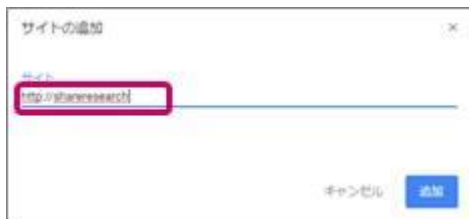


⑤ [ブロック(推奨)]が選択された状態となっていることを確認し、[許可]で「追加」をクリックします。



## ◆補足

[ブロック(推奨)]ではなく[許可]が選択されている場合は、本設定は不要です。



⑥ [サイトの追加]で[サイト]に”https://www.srpv2”を入力し、[追加]をクリックします。(2019/3時点chrome対応「国内+国外版」「国内外+翻訳版」のみ)

# 環境設定（Google Chrome）（※国内+国外版、国内外+翻訳版のみ）

## 2. 既定のブラウザに設定

HTMLやExcelのダウンロード結果などからShareresearchを起動する場合、画面は既定のブラウザで表示されます。ここでは、Chromeを既定のブラウザに設定する方法について説明します。

既定のブラウザの設定方法は、Windowsのバージョンによって手順が異なります。ご利用中のWindowsのバージョンにあわせて、「Windows 7をご利用の場合」、「Windows 8.1をご利用の場合」、または「Windows 10をご利用の場合」のどれかを実施してください。

なお、Internet ExplorerまたはChrome以外が既定のブラウザに設定されている場合、正常に操作できない場合がありますのでご注意ください。

### > Windows 7をご利用の場合

- ① Chromeを起動し、画面右上部の[:] - [設定]を選択します。
- ② [設定]の[既定のブラウザ]で「デフォルトに設定」をクリックします。



# 環境設定（Google Chrome）（※国内+国外版、国内外+翻訳版のみ）

## 2. 既定のブラウザに設定

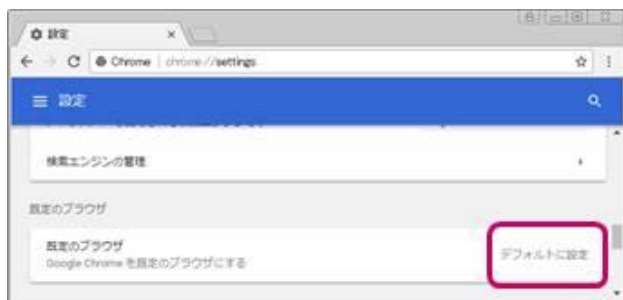
HTMLやExcelのダウンロード結果などからShareresearchを起動する場合、画面は既定のブラウザで表示されます。ここでは、Chromeを既定のブラウザに設定する方法について説明します。

既定のブラウザの設定方法は、Windowsのバージョンによって手順が異なります。ご利用中のWindowsのバージョンにあわせて、「Windows 7をご利用の場合」、「Windows 8.1をご利用の場合」、または「Windows 10をご利用の場合」のどれかを実施してください。

なお、Internet ExplorerまたはChrome以外が既定のブラウザに設定されている場合、正常に操作できない場合がありますのでご注意ください。

### > Windows 7をご利用の場合

- ① Chromeを起動し、画面右上部の[:] - [設定]を選択します。
- ② [設定]の[既定のブラウザ]で「デフォルトに設定」をクリックします。



# 環境設定（Google Chrome）（※国内+国外版、国内外+翻訳版のみ）

## 2. 既定のブラウザに設定

> Windows 8.1をご利用の場合

- ① Chromeを起動し、画面右上部の[:]－[設定]を選択します。
- ② [設定]の[既定のブラウザ]で「デフォルトに設定」をクリックします。
- ③ 「どのアプリを使いますか？」に対し「Google Chrome」を選択します。

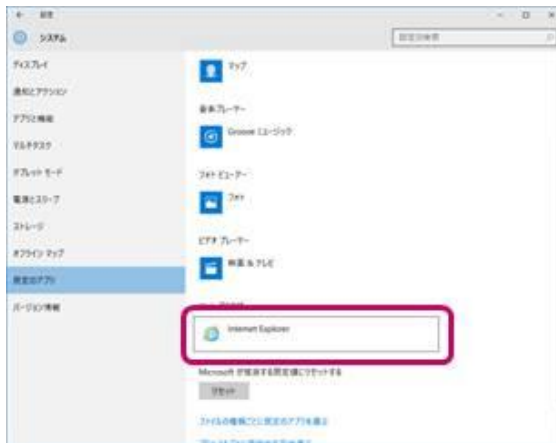
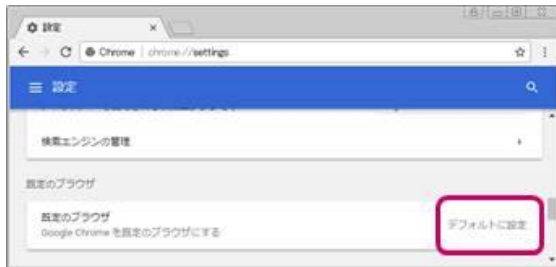


# 環境設定 (Google Chrome) (※国内+国外版、国内外+翻訳版のみ)

## 2. 既定のブラウザに設定

> Windows 10をご利用の場合

- ① Chromeを起動し、画面右上部の[:] - [設定]を選択します。
- ② [設定]の[既定のブラウザ]で「デフォルトに設定」をクリックします。
- ③設定画面が開きますので、「Webブラウザ」エリアをクリックします。
- ④「アプリを選ぶ」に対し「Google Chrome」を選択します。



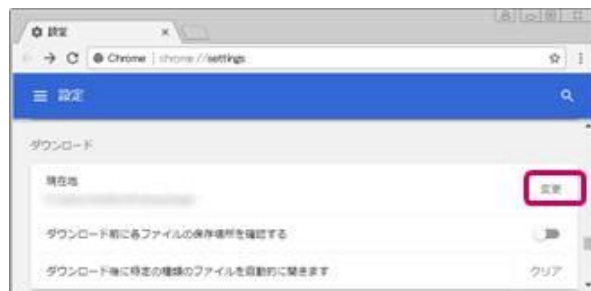


# 環境設定（Google Chrome）（※国内+国外版、国内外+翻訳版のみ）

## 3. ダウンロードファイルの保存先の設定

Excelダウンロードや検索式の保存などでダウンロードしたファイルは、標準設定では自動で「C:¥Users¥ユーザー名¥Downloads」配下に保存されます。ダウンロード前に常にファイルの保存場所を確認する設定にしたい場合や、ダウンロードファイルの自動保存先を変更したい場合は、以下の手順で設定してください。

- ① Chromeを起動し、画面右上部の[:]－[設定]を選択します。
- ② [設定]の[詳細設定]をクリックします。
- ③ [ダウンロード]の[ダウンロード前に各ファイルの保存場所を確認する]を有効にします。
- ④ 常にダウンロードされる場所を指定する場合には「変更」を選択します。



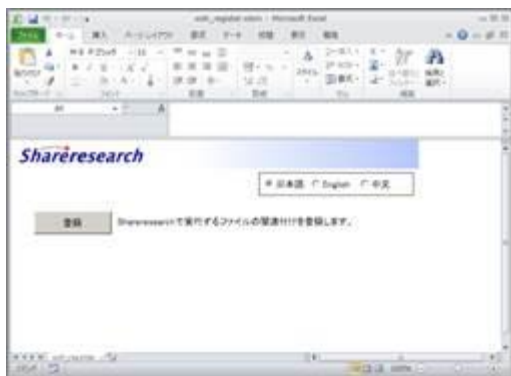
# 環境設定（Google Chrome）（※国内+国外版、国内外+翻訳版のみ）

## 4. PDFレイアウトの印刷設定

ご利用中の環境に応じて、「Excelマクロを利用できる場合」または「Excelマクロを利用できない場合」のどちらかを実施ください。

### >Excelマクロを利用できる場合

- ① Excelマクロをダウンロードします。  
Excelマクロをダウンロードするには、[こちら](#)をクリックしてください。
- ② [名前を付けて保存]画面が表示されるので、ファイル名を「wsh\_register.xlsm」のまま変更しないで、任意の場所に保存します。  
初期設定に必要なExcelマクロファイルが保存されます。  
なお、環境によっては、[名前を付けて保存]画面が表示されない場合があります。その場合はChromeの設定画面で指定されているダウンロード保存先に自動で保存されます。
- ③ ダウンロードしたExcelファイル「wsh\_register.xlsm」を開きます。  
セキュリティの警告が表示されることがあります。その場合、[コンテンツの有効化]をクリックしてください。
- ④ [登録]ボタンをクリックします。



# 環境設定 (Google Chrome) (※国内+国外版、国内外+翻訳版のみ)

## 4. PDFレイアウトの印刷設定

### >Excelマクロを利用できない場合

① スタートメニューから[アクセサリ]－[コマンドプロンプト]を右クリックし、  
[管理者として実行]をクリックします。

◆補足

(コマンドプロンプトを起動すると、ご利用のアカウントによっては  
確認ダイアログが表示されることがあります。)

② コマンドプロンプトのタイトルバーに「管理者:コマンドプロンプト」と表示されていることを確認します。

③ 以下のコマンドを実行します。(△は半角スペース一個)

```
assoc △.sc_script=Palnet△Sc△File
```

④ エラーがないことを確認します。

⑤ 以下のコマンドを実行します。

```
ftype △Palnet△Sc△File="wscript.exe" △/E:VBScript△"%1"
```

⑥ エラーがないことを確認します。



# 環境設定 (Google Chrome) (※国内+国外版、国内外+翻訳版のみ)

## 4. PDFレイアウトの印刷設定

### ◆印刷処理自動実行の設定

以下はすべての環境で実施ください。

①メイン画面左側の機能メニューフレームで[番号照会]をクリックします。



②[入力形式]で[(国内)公報番号/出願番号]を選択し、「特開2017-048055」を入力します。

③ [照会]ボタンをクリックします。

④ 検索結果が表示されることを確認します。

⑤ 項番1の案件をチェックし、[印刷]ボタンをクリックします。



# 環境設定（Google Chrome）（※国内+国外版、国内外+翻訳版のみ）

- ⑥ [印刷の設定]で次のとおり設定します。  
[印刷の範囲]: [選択されている文献]を選択  
[印刷種別]: [全文]をチェックして[レイアウト]を選択



- ⑦ [実行]ボタンをクリックします。  
⑧ [OK]ボタンをクリックします。  
⑨ [名前を付けて保存]画面が表示されるので、ファイル名を変更しないで、任意の場所に保存します。  
なお、環境によっては、[名前を付けて保存]画面が表示されない場合があります。その場合はChromeの設定画面で指定されているダウンロード保存先に自動で保存されます。

# 環境設定 (Google Chrome) (※国内+国外版、国内外+翻訳版のみ)

- ⑩ [印刷処理]ダイアログが表示されるので、[ 〽 ]ボタンをクリックします。
- ⑪ [この種類のファイルは常に関く(A)]をクリックします。



- ⑫ [中止]ボタンをクリックします。
- ⑬適宜、保存したファイルや履歴を削除します。

# 環境設定 (Google Chrome) (※国内+国外版、国内外+翻訳版のみ)

## 6. ランキングやハイライトの印刷設定

① Chromeを起動し、画面右上部の[:]－[印刷]を選択します。



② [詳細設定]をクリックします。



# 環境設定 (Google Chrome) (※国内+国外版、国内外+翻訳版のみ)

③ [オプション]の[背景のグラフィック]をチェックします。



④ [キャンセル]でオプション画面を閉じます。



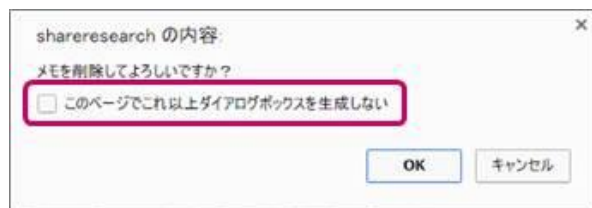
# 環境設定 (Google Chrome) (※国内+国外版、国内外+翻訳版のみ)

## 7. 注意事項

### ◆ダイアログボックスでの操作について

同じ画面内で2回以上同じダイアログを表示するような操作を行うと、表示されるダイアログ内に[このページでこれ以上ダイアログボックスを生成しない]というチェックボックスが表示されることがあります。このチェックボックスはチェックしないでください。

もしチェックボックスをチェックした状態でダイアログボックスを閉じてしまった場合は、一度ログアウトし、再度ログインしてください。再びダイアログボックスが表示されるようになります。



### ◆小さいウィンドウ上に表示されるダイアログボックスについて

ダイアログボックスの幅よりも元のウィンドウの幅が小さい場合、環境によっては以下のようにダイアログボックスの両端が切れて表示されることがあります。その場合は、[OK][キャンセル]ボタン等でダイアログボックスを閉じたあと、元のウィンドウサイズを大きくしてから再度操作してください。

